

野村エマーシング・ソブリン 円投資型1203

償還運用報告書(全体版)

第43期（決算日2022年12月26日） 第44期（償還日2023年3月24日）

作成対象期間（2022年9月27日～2023年3月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行ない、償還価額が決定いたしました。
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券	
信託期間	2012年3月30日から2023年3月24日までです。	
運用方針	野村エマーシング・ソブリン 円投資型 マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行なうことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行なうため、原則として行ないません。	
主な投資対象	野村エマーシング・ソブリン 円投資型1203	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村エマーシング・ソブリン 円投資型1203	株式への直接投資は行ないません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行ないません。株式への投資は転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として経費控除後の利子・配当等収益と売買益から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			中 期 騰 落 率	受 益 回 者 り	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	元 残 存 本 率
		税 分 配	達 配 金	期 騰 落					
(設定日)	円 銭	円	円 銭	%	%	%	%	%	
2012年3月30日	10,000	—	—	—	—	—	—	100.0	
1期(2012年6月25日)	10,153	75	228	2.3	9.5	98.3	—	97.5	
2期(2012年9月24日)	10,478	75	400	3.9	12.8	96.9	—	83.2	
3期(2012年12月25日)	10,600	75	197	1.9	11.1	101.0	—	79.6	
4期(2013年3月25日)	10,276	75	△249	△2.3	5.8	98.9	—	75.7	
5期(2013年6月24日)	9,641	60	△575	△5.6	0.0	95.8	—	54.8	
6期(2013年9月24日)	9,666	60	85	0.9	0.6	96.1	—	51.0	
7期(2013年12月24日)	9,590	60	△16	△0.2	0.4	97.2	—	44.3	
8期(2014年3月24日)	9,660	60	130	1.4	1.0	96.4	—	43.7	
9期(2014年6月24日)	9,909	60	309	3.2	2.3	97.1	—	37.6	
10期(2014年9月24日)	9,866	60	17	0.2	2.1	99.2	—	32.5	
11期(2014年12月24日)	9,893	60	87	0.9	2.2	96.3	—	31.0	
12期(2015年3月24日)	9,954	60	121	1.2	2.5	97.3	—	29.0	
13期(2015年6月24日)	9,831	60	△63	△0.6	2.1	97.6	—	26.1	
14期(2015年9月24日)	9,635	60	△136	△1.4	1.5	99.4	—	23.3	
15期(2015年12月24日)	9,460	60	△115	△1.2	1.1	95.0	—	22.6	
16期(2016年3月24日)	9,768	60	368	3.9	2.0	97.5	—	20.6	
17期(2016年6月24日)	9,920	60	212	2.2	2.4	92.1	—	18.4	
18期(2016年9月26日)	10,078	60	218	2.2	2.7	97.4	—	17.3	
19期(2016年12月26日)	9,572	60	△446	△4.4	1.6	101.3	—	16.3	
20期(2017年3月24日)	9,708	60	196	2.0	1.9	94.1	—	15.3	
21期(2017年6月26日)	9,838	60	190	2.0	2.2	99.6	—	14.9	
22期(2017年9月25日)	9,871	60	93	0.9	2.3	100.3	—	14.3	
23期(2017年12月25日)	9,751	60	△60	△0.6	2.1	96.5	—	13.7	
24期(2018年3月26日)	9,453	60	△238	△2.4	1.6	95.0	—	13.4	
25期(2018年6月25日)	9,197	60	△196	△2.1	1.2	96.6	—	12.7	
26期(2018年9月25日)	8,978	60	△159	△1.7	0.9	99.7	—	12.2	
27期(2018年12月25日)	8,910	60	△8	△0.1	0.9	95.8	—	12.1	
28期(2019年3月25日)	9,084	60	234	2.6	1.2	96.4	—	11.8	
29期(2019年6月24日)	9,294	60	270	3.0	1.5	97.0	—	11.0	
30期(2019年9月24日)	9,360	60	126	1.4	1.6	98.2	—	11.0	
31期(2019年12月24日)	9,271	60	△29	△0.3	1.5	98.2	—	9.9	
32期(2020年3月24日)	8,290	60	△921	△9.9	0.3	99.8	—	9.7	
33期(2020年6月24日)	9,227	60	997	12.0	1.5	96.8	—	9.5	
34期(2020年9月24日)	9,345	60	178	1.9	1.7	95.1	—	9.3	
35期(2020年12月24日)	9,593	60	308	3.3	2.0	97.3	—	8.6	
36期(2021年3月24日)	9,271	60	△262	△2.7	1.7	101.0	—	8.5	
37期(2021年6月24日)	9,426	60	215	2.3	1.8	98.7	—	8.2	
38期(2021年9月24日)	9,368	60	2	0.0	1.8	97.4	—	7.9	
39期(2021年12月24日)	9,210	60	△98	△1.0	1.7	99.4	—	7.9	
40期(2022年3月24日)	8,693	60	△457	△5.0	1.2	101.8	—	7.9	
41期(2022年6月24日)	8,122	60	△511	△5.9	0.6	103.4	—	7.1	
42期(2022年9月26日)	7,843	60	△219	△2.7	0.4	101.8	—	6.9	
43期(2022年12月26日)	7,917	60	134	1.7	0.5	90.5	—	6.6	
(償還時)	(償還価額)	—	—	—	—	—	—	—	
44期(2023年3月24日)	7,896.97	—	△20.03	△0.3	0.5	—	—	6.6	

* 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第43期	(期 首) 2022年9月26日	円 銭 7,843	% —	% —	% 101.8	% —
	9月末	7,644	△2.5	—	102.6	—
	10月末	7,741	△1.3	—	103.0	—
	11月末	7,993	1.9	—	93.3	—
	(期 末) 2022年12月26日	7,977	1.7	—	90.5	—
第44期	(期 首) 2022年12月26日	7,917	—	—	90.5	—
	12月末	7,894	△0.3	—	90.8	—
	2023年1月末	8,014	1.2	—	93.5	—
	2月末	7,871	△0.6	—	100.8	—
	(償還時) 2023年3月24日	(償還価額) 7,896.97	△0.3	—	—	—

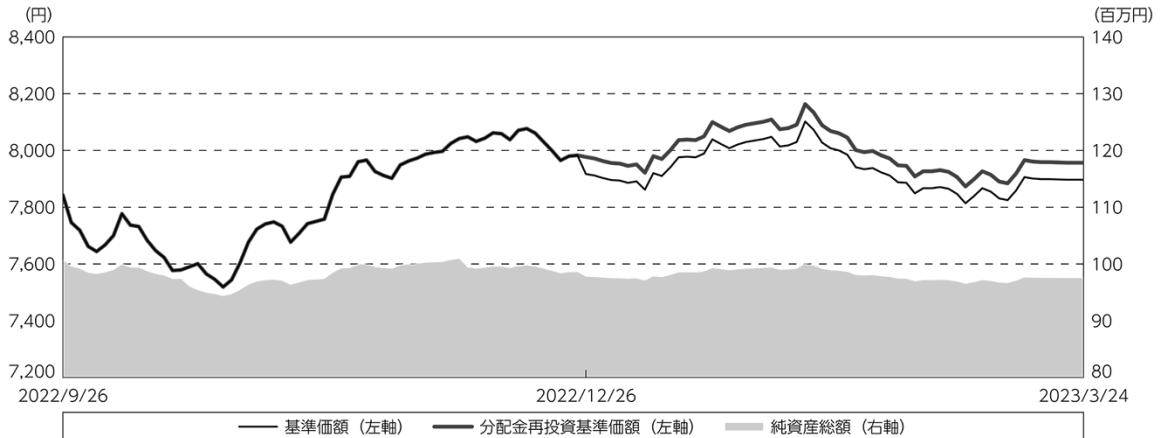
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第 43 期 首： 7,843円

第44期末(償還日)：7,896円97銭 (既払分配金(税込み)：60円)

騰 落 率： 1.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2022年9月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は1.5%の上昇。

基準価額は、第43期期首の7,843円から第44期期末7,896.97円となりました。第43期に分配金を60円お支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は113.97円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン(利息収入)。

(上昇) 保有していた債券の値上がり(キャピタルゲイン)。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

○投資環境

当作成期を通じて、10年米国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

米国では、CPI（消費者物価指数）などの物価関連指標がインフレ鈍化の兆しを示した他、米シリコンバレー銀行の経営破綻などをきっかけに銀行システムに対する懸念が高まり、FRB（米連邦準備制度理事会）が積極的な金融引き締め政策を維持するとの見方が後退しました。このような環境下、10年米国債利回りは低下しました。

米ドル建てエマージング国債市場全体の対米国債スプレッド（利回り格差）は、縮小しました。

メキシコでは、米国において1月の雇用統計が市場予想を上回るなど景気の底堅さが確認される中で、経済や貿易で米国との関係が強いことによる好影響が意識されました。このような環境下、米ドル建てメキシコ債券の対米国債スプレッドは縮小しました。

ブラジルでは、2022年10月に実施された大統領選挙ではルラ元大統領が勝利しました。選挙を巡る不透明感が払しょくされたことなどを背景に、米ドル建てブラジル債券の対米国債スプレッドは縮小しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村エマージング・ソブリン 円投資型1203]

[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

定時償還に伴い、[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券の売却を実施し、現金化しました。

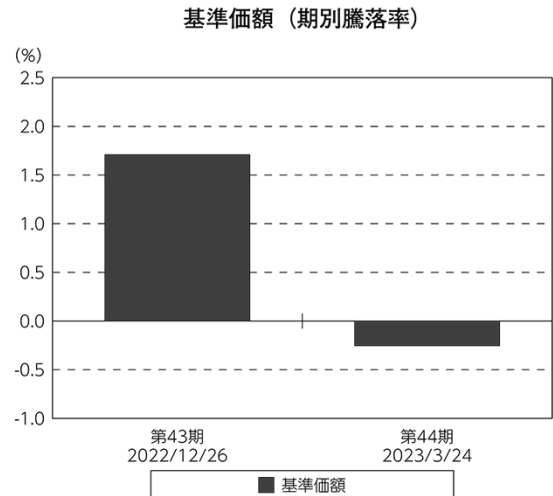
[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から当作成期末において、ブラジル、インドネシア、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から次の通りとさせていただきます。第44期では、償還のため分配金をお支払いしておりません。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないました。

	第43期
1口当たり分配金（税込み）	60円

◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時に7,896.97円となりました。設定来、分配金を1口当たり2,640円お支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は536.97円となりました。

【第1-44期】

(上昇要因)

- ・債券を保有していたことによる利息収入（インカムゲイン）。

(下落要因)

- ・対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。
- ・保有していた債券の値下がり（キャピタルロス）。

当ファンドは、2023年3月24日をもちまして償還となりました。設定以来のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

○ 1口当たりの費用明細

(2022年9月27日～2023年3月24日)

項 目	第43期～第44期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 45	% 0.566	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(17)	(0.216)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(25)	(0.324)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.006	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	45	0.572	
作成期間の平均基準価額は、7,859円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

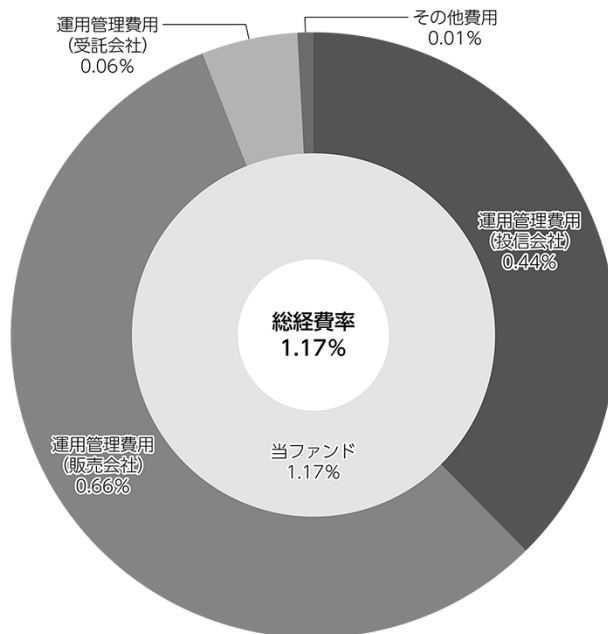
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注) 当ファンドの費用は1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月27日～2023年3月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第43期～第44期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
野村エマージング・ソブリン	円投資型 マザーファンド	—	—	83,603	102,432

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月27日～2023年3月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年3月24日現在)

2023年3月24日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	第42期末	
		口	数
			千口
野村エマージング・ソブリン	円投資型 マザーファンド		83,603

*単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年3月24日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	97,792	100.0
投資信託財産総額	97,792	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還(基準)価額の状況

項 目	第43期末	償 還 時
	2022年12月26日現在	2023年3月24日現在
	円	円
(A) 資産	98,788,063	97,792,924
コール・ローン等	1,280,340	97,792,924
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド(評価額)	97,507,723	-
(B) 負債	1,019,826	273,267
未払収益分配金	740,940	-
未払信託報酬	278,385	272,699
未払利息	1	97
その他未払費用	500	471
(C) 純資産総額(A-B)	97,768,237	97,519,657
元本	123,490,000	123,490,000
次期繰越損益金	△ 25,721,763	-
償還差損金	-	△ 25,970,343
(D) 受益権総口数	12,349口	12,349口
1口当たり基準価額(C/D)	7,917円	-
1口当たり償還価額(C/D)	-	7,896円97銭

(注) 設定年月日2012年3月30日、設定元本額は1,843,630,000円、第43期首元本額は128,490,000円、当作成期末における元本残存率は6.6%、1口当たり純資産額は、第43期7,917円、第44期7,896.97円です。

○損益の状況

項 目	第43期	第44期
	2022年9月27日～ 2022年12月26日	2022年12月27日～ 2023年3月24日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 8	△ 154
支払利息	△ 8	△ 154
(B) 有価証券売買損益	656,146	24,744
売買益	656,146	15,013,086
売買損	-	△14,988,342
(C) 有価証券評価差損益	1,244,003	-
(D) 信託報酬等	△ 283,878	△ 273,170
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	1,616,263	△ 248,580
(F) 前期繰越損益金	△27,713,886	△25,721,763
(G) 解約差損益金	1,116,800	-
(H) 計(E+F+G)	△24,980,823	-
(I) 収益分配金	△ 740,940	-
次期繰越損益金(H+I)	△25,721,763	-
償還差損金(E+F+G)	-	△25,970,343

* 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2012年3月30日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年3月24日			資産総額	97,792,924円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	273,267円	
受益権口数	184,363口	12,349口	△ 172,014口	純資産総額	97,519,657円	
元本額	1,843,630,000円	123,490,000円	△1,720,140,000円	受益権口数	12,349口	
				1口当たり償還金	7,896円97銭	
最近10年の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金		
				金額	分配率	
第4期	1,397,350,000円	1,435,868,425円	10,276円	75円	0.75%	
第5期	1,011,370,000	975,041,461	9,641	60	0.60	
第6期	941,970,000	910,483,269	9,666	60	0.60	
第7期	816,870,000	783,394,088	9,590	60	0.60	
第8期	806,870,000	779,446,229	9,660	60	0.60	
第9期	694,660,000	688,345,576	9,909	60	0.60	
第10期	600,960,000	592,912,101	9,866	60	0.60	
第11期	573,260,000	567,141,551	9,893	60	0.60	
第12期	535,260,000	532,785,679	9,954	60	0.60	
第13期	481,650,000	473,490,445	9,831	60	0.60	
第14期	431,150,000	415,398,474	9,635	60	0.60	
第15期	417,650,000	395,094,974	9,460	60	0.60	
第16期	381,060,000	372,201,181	9,768	60	0.60	
第17期	340,080,000	337,363,996	9,920	60	0.60	
第18期	320,580,000	323,089,168	10,078	60	0.60	
第19期	302,280,000	289,334,333	9,572	60	0.60	
第20期	282,680,000	274,437,354	9,708	60	0.60	
第21期	275,680,000	271,213,860	9,838	60	0.60	
第22期	264,680,000	261,273,473	9,871	60	0.60	
第23期	254,280,000	247,956,673	9,751	60	0.60	
第24期	248,270,000	234,696,945	9,453	60	0.60	
第25期	235,270,000	216,375,777	9,197	60	0.60	
第26期	225,170,000	202,153,192	8,978	60	0.60	
第27期	223,170,000	198,839,070	8,910	60	0.60	
第28期	218,170,000	198,188,849	9,084	60	0.60	
第29期	204,170,000	189,763,992	9,294	60	0.60	
第30期	204,170,000	191,094,593	9,360	60	0.60	
第31期	182,570,000	169,252,077	9,271	60	0.60	
第32期	180,230,000	149,409,747	8,290	60	0.60	
第33期	176,230,000	162,605,230	9,227	60	0.60	
第34期	173,130,000	161,791,922	9,345	60	0.60	
第35期	160,130,000	153,613,273	9,593	60	0.60	

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第36期	157,130,000円	145,672,670円	9,271円	60円	0.60%
第37期	152,930,000	144,148,822	9,426	60	0.60
第38期	146,420,000	137,164,362	9,368	60	0.60
第39期	146,420,000	134,852,132	9,210	60	0.60
第40期	146,420,000	127,276,840	8,693	60	0.60
第41期	131,890,000	107,119,346	8,122	60	0.60
第42期	128,490,000	100,776,114	7,843	60	0.60
第43期	123,490,000	97,768,237	7,917	60	0.60
信託期間中1口当たり総収益金及び年平均収益率				536円97銭	0.4887%

○分配金のお知らせ

第43期	
1口当たり分配金（税込み）	60円

○償還金のお知らせ

償還時	
1口当たり償還金（税込み）	7,896円97銭

○お知らせ

該当事項はございません。

野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド

運用報告書

第11期（決算日2022年10月24日）

作成対象期間（2021年10月26日～2022年10月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は、転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	中率			
7期(2018年10月24日)	円 11,761		% △ 6.0	% 98.7	% —	百万円 31,103
8期(2019年10月24日)	12,761		8.5	98.9	—	28,459
9期(2020年10月26日)	13,420		5.2	95.6	—	24,863
10期(2021年10月25日)	13,588		1.3	101.0	—	21,641
11期(2022年10月24日)	11,535		△15.1	103.2	—	15,683

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

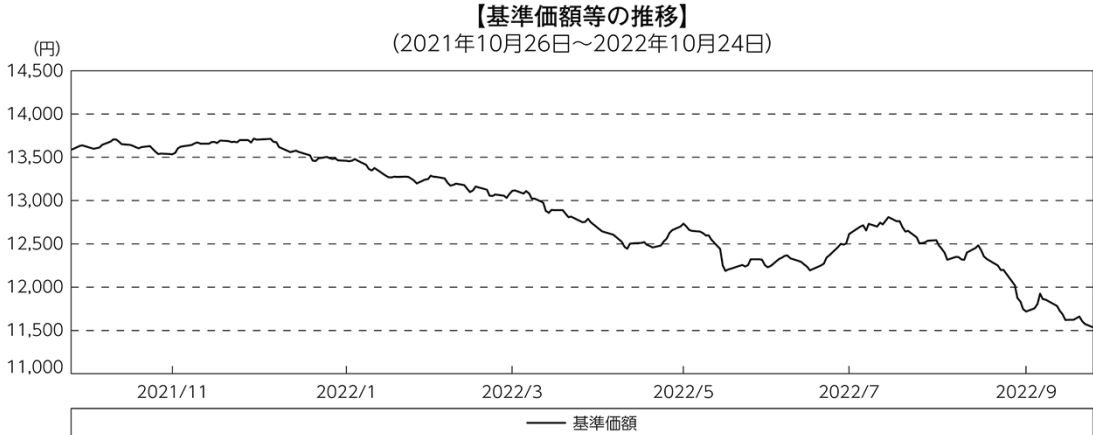
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2021年10月25日	円 13,588		% —	% 101.0	% —
10月末	13,637		0.4	99.4	—
11月末	13,535		△ 0.4	99.2	—
12月末	13,704		0.9	100.1	—
2022年1月末	13,460		△ 0.9	99.5	—
2月末	13,243		△ 2.5	99.0	—
3月末	13,113		△ 3.5	103.2	—
4月末	12,749		△ 6.2	106.5	—
5月末	12,734		△ 6.3	102.0	—
6月末	12,231		△10.0	104.4	—
7月末	12,613		△ 7.2	99.4	—
8月末	12,445		△ 8.4	101.0	—
9月末	11,718		△13.8	102.8	—
(期末) 2022年10月24日	11,535		△15.1	103.2	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は、15.1%の下落

基準価額は、期首13,588円から期末11,535円となりました。基準価額の下落額は2,053円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。

(下落) 保有していた債券の値下がり（キャピタルロス）。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

○当ファンドのポートフォリオ

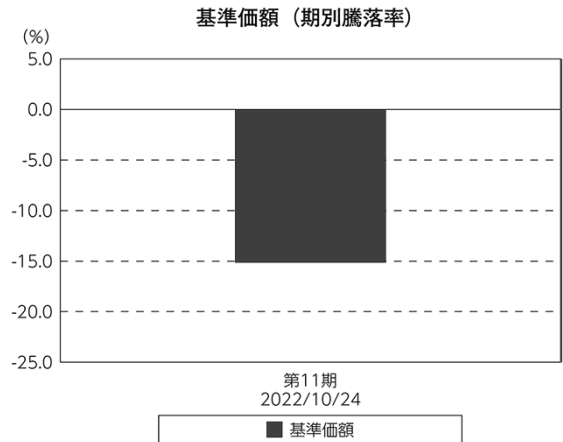
信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から4月末までは、ブラジル、インドネシア、中国、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、フィリピン、コロンビアに投資を行ないました。5月にフィリピン、ハンガリーからルーマニア、ペルーへの投資国入れ替えを実施した他、8月に中国からハンガリーへの投資国入れ替えを実施し、投資国をブラジル、インドネシア、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。

また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年10月26日～2022年10月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	1	0.011	
期中の平均基準価額は、12,931円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2021年10月26日～2022年10月24日)

公 社 債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ		千米ドル	千米ドル
		国債証券	51,956	82,978
		社債券（投資法人債券を含む）	—	23,714

*金額は受け渡し代金。（経過利分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○ 利 害 関 係 人 と の 取 引 状 況 等

(2021年10月26日～2022年10月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年10月24日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	121,300	108,625	16,188,444	103.2	38.7	63.5	27.4	12.3
合 計	121,300	108,625	16,188,444	103.2	38.7	63.5	27.4	12.3

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* S&Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付けを採用しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	COLOMBIA GLOBAL	8.125	13,000	12,968	1,932,643	2024/5/21	
	FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.25	800	779	116,227	2025/1/7	
	FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.5	15,000	13,403	1,997,560	2029/5/30	
	HUNGARY	5.25	15,000	13,109	1,953,734	2029/6/16	
	REPUBLIC OF INDONESIA	3.4	7,600	6,648	990,889	2029/9/18	
	REPUBLIC OF PERU	4.125	15,000	13,922	2,074,942	2027/8/25	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	5.875	16,000	13,563	2,021,323	2030/6/22	
	ROMANIA	3.0	17,000	14,119	2,104,206	2027/2/27	
	UNITED MEXICAN STATES	3.75	2,900	2,625	391,306	2028/1/11	
	UNITED MEXICAN STATES	4.5	12,000	10,945	1,631,257	2029/4/22	
普通社債券 (含む投資法人債券)	PERUSAHAAN LISTRIK NEGAR	5.45	7,000	6,537	974,352	2028/5/21	
合 計					16,188,444		

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年10月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 16,188,444	% 97.3
コール・ローン等、その他	456,838	2.7
投資信託財産総額	16,645,282	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建純資産(16,529,387千円)の投資信託財産総額(16,645,282千円)に対する比率は99.3%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=149.03円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年10月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	32,043,836,726
コール・ローン等	154,867,624
公社債(評価額)	16,188,444,475
未収入金	15,401,207,729
未収利息	279,756,710
前払費用	19,560,188
(B) 負債	16,360,143,785
未払金	16,331,043,672
未払解約金	29,100,000
未払利息	113
(C) 純資産総額(A-B)	15,683,692,941
元本	13,596,195,472
次期繰越損益金	2,087,497,469
(D) 受益権総口数	13,596,195,472口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,535円

(注) 期首元本額は15,927,649,547円、期中追加設定元本額は9,578,548円、期中一部解約元本額は2,341,032,623円、1口当たり純資産額は1.1535円です。

○損益の状況 (2021年10月26日～2022年10月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,100,668,173
受取利息	1,100,502,175
その他収益金	201,217
支払利息	△ 35,219
(B) 有価証券売買損益	△ 4,083,675,211
売買益	6,230,202,289
売買損	△10,313,877,500
(C) 保管費用等	△ 2,143,023
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,985,150,061
(E) 前期繰越損益金	5,714,292,898
(F) 追加信託差損益金	2,521,452
(G) 解約差損益金	△ 644,166,820
(H) 計(D+E+F+G)	2,087,497,469
次期繰越損益金(H)	2,087,497,469

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村エマージング・ソブリン 円投資型1210	3,763,849,407
野村エマージング・ソブリン 円投資型1211	3,310,847,238
野村エマージング・ソブリン 円投資型1212	2,438,438,855
野村エマージング・ソブリン 円投資型1208	2,167,634,509
野村エマージング・ソブリン 円投資型1301	1,179,678,290
野村エマージング・ソブリン 円投資型1302	250,701,907
野村エマージング・ソブリン 円投資型1205	197,782,857
野村エマージング・ソブリン 円投資型1111	151,693,470
野村エマージング・ソブリン 円投資型1203	81,625,305
野村エマージング・ソブリン 円投資型1303	53,943,634

○お知らせ

該当事項はございません。